

多様な性の在り方

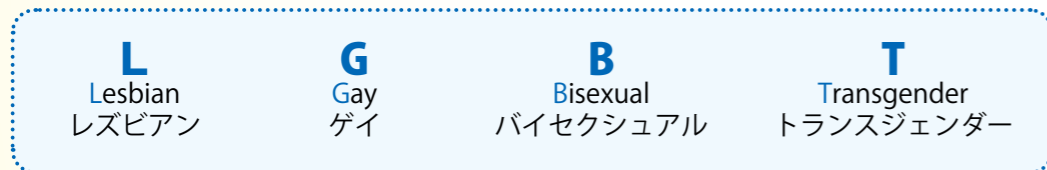
人口の9.7%(約10人に1人の割合)の人が「性的マイノリティ(これまでの性の在り方にとらわれない人々)」に該当すると言われていいます。一人一人の性の在り方は多様で、その広がりや虹のようなグラデーションであると表現されています。誰もが自分らしく、ありのまま生きられる社会を実現するためには、お互いにさまざまな違いを認め合うことが大切です。

多様な性の例

- ▶ **生物学的な性** (からだの性) … 戸籍などに記載された性別のこと。
- ▶ **性自認** (こころの性) … 自分の性別を自分でどう思うか。
- ▶ **性的指向** (好きになる性) … どの性別の人を好きになるか。
- ▶ **社会的・文化的な性** (ジェンダー) … 社会によってつくられた性差のこと。文化によって分け方が違いがある。
- ▶ **性表現** (表現する性) … 服装やしぐさ、言葉づかいなど。

「LGBTQ+」と「SOGI」

性のあり方にとらわれない人々(性的マイノリティー)を表す言葉の1つです。「LGBT」とは、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障がい者を含む、心と出生時の性別が一致しない人)のアルファベットの頭文字を取った言葉で、「性的少数者の総称」として用いられることもあります。さらに、たくさんの性の在り方を含めて、「LGBTQ+」を表現することもあります。「SOGI」とは、性的指向(好きになる性)、性自認(心の性)、それぞれの英訳のアルファベットの頭文字を取った「人の属性を表す略称」で、異性愛の人なども含め全ての人々が持っている属性のことを言います。



※これら以外にも「自分の性自認や性的指向が分からない、定まっていな人(クエスチョニング)」や「他人に性的関心を抱かない人(アセクシュアル)」など、さまざまな人がいます。

市では、男女共同参画社会の実現に向けて、令和5年度に「男女共同参画推進計画」を策定しました。一人一人の人権を尊重し、誰もが個性と能力を発揮できる社会を目指しましょう。



◀ 詳細は、市ホームページをご覧ください。

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

男女共同参画社会について考えよう

男女共同参画社会とは、性別に関わりなく、全ての人が職場や学校、地域、家庭で、個性や能力を十分に発揮し、誰もが自分らしく生きられる社会のことです。男女共同参画と性の多様性について、考えてみましょう。

問い合わせ 地域振興課 浅野 ☎0053

ジェンダーバイアスとは

「性別の違いから特定の役割や行動などに、思い込みや偏見を無意識に持つこと」を言います。「男性は仕事、女性は家庭」などといった性別による固定的な役割分担を無意識に持っていませんか。まずは、「自分の中にあるジェンダーバイアスに気付き、それにとらわれない、相手に押し付けない」という意識を持つことが大切です。

身近なジェンダーバイアスの事例

次の例以外にも多くあります。

1. **色や形から**
 - ▶ 好きな色は、男性は青/女性はピンク
 - ▶ 好きな遊びは、男性は車やロボット/女性は人形
2. **職場や学校から**
 - ▶ 仕事について、製造は男性がやるもの/事務は女性がするもの
 - ▶ 好きな教科は、男性は理系/女性は文系
3. **服装やしぐさから**
 - ▶ 男性だから外で遊ぶ ▶ 女性らしい口調で話す、スカートを履く



男女共同参画推進セミナーを開催しました

市は令和7年12月14日、男女共同参画推進セミナー「カードで楽しく学ぼう! みんなのジェンダーバイアス」を市役所相良庁舎で開催しました。

10代から60代までの20人が参加し、講師に橋本恵子氏(ことのはスクエア代表)を迎えました。

日常にあるジェンダーバイアス(性別による固定的な思い込み)や身近に起こる状況をテーマに、参加者はカードゲームや対話から学びを得ました。また、世代や経験などによって持っているジェンダーバイアスはさまざまであり、それらを知って受け入れることが男女共同参画の第一歩であることを共有しました。

今回使用した「ジェンダーカード」の内容は、市内の高校生が作成したものです。また、デザインは市が実施する「地域リーダー育成プロジェクト」の卒業生が描いてくれました。



◀ カードゲームで「ジェンダーバイアス」の気づきを見つけている参加者



◀ ジェンダーカード